

写真・映像教育推進のご提案

# わくわくおどろき！写真体験教室



「おどろき」「ときめき」「感動」体験！

ピンホール写真体験コース

デジタル写真体験コース

公益社団法人 日本写真協会  
写真・映像教育推進委員会

## 🟢 目的

写真体験学習を通じて、写真・映像の「驚き」「トキメキ」「感動」が一人一人の創造力を引き出し、自己表現力、コミュニケーション力、集中力、鑑賞力などが身につくことにより心豊かな人間形成を図ります。

## 🟢 「わくわくおどろき！写真体験教室」は2つのコースがあります。

- ピンホール写真体験コース
- デジタル写真体験コース

「ピンホール写真体験教室」では、ピンホールカメラを組み立て、撮影し、仮設の暗室でネガづくりからプリントづくりまでを体験できます。

「デジタル写真体験教室」では、コンパクトデジタルカメラを使って自分が興味を持ったもの、好きなものを撮影して自分の気持ちを作品として発表します。

どのコースも写真の撮り方やカメラの扱い方、撮影マナー、写真の仕組み、写真の歴史なども学習します。

## 🟢 対象者

未就学児・小・中・高校 各学年に応じます。親子での体験も可能です。授業やクラブ活動、放課後子ども教室、児童館の活動、科学館・博物館のイベントなどで実施しています。

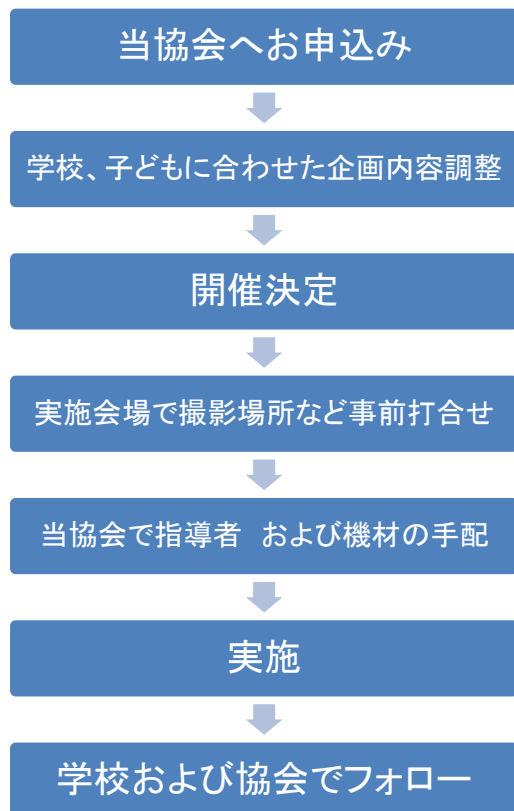
## 🟢 実施時間

各コースとも、2時間30分程度の時間が必要です。「ピンホール写真体験教室」の学習時間の理想は1日（午前中にカメラ作り、撮影、現像ネガ作り、午後からプリント作り）ですが、人数や時間、場所などその状況に合わせて調整します。

「ピンホール写真体験教室」は開始前に、教室、暗室ほかの準備・設営のための時間が必要になります。午前中から開催の場合は、前日に準備・設営ができることをお願いしています。また、会場撤収に1時間程度要します。

## ● 開催まで・・・

- ①写真体験教室の開催については、当協会にお申し込みください。
- ②学校、公民館、博物館などの会場、参加する子どもたち(親子)に合わせて企画内容を当協会スタッフと調整します。これまでの実績では、保育園・幼稚園児の年長組も参加しています。
- ③開催日時、参加者数、実施回数、プログラム内容および主催者側のスタッフ(お手伝い)の人数などを決めます。  
1回当たりの参加人数は、<ピンホール写真コース><デジタル写真コース>ともに30名以下が望ましいですが、詳しくはご相談ください。体験教室の参加呼びかけや告知は、主催者側でお願いしています。
- ④体験教室で使用する機材などは、前日に会場に届くように当協会が手配いたします。
- ⑤体験教室開催の前日または当日に会場を準備します。<ピンホール>の会場は2部屋が望ましいですが、うち1部屋を暗室にします。また、印画紙の水洗ができる「流し」が必要です。当日設営の場合は、開催2時間前から会場設営ができるようにお願いします。
- ⑥開催前日または当日の設営・準備中に主催者側スタッフに対して、事前の説明を実施します。
- ⑦終了後は、後片付けと機材の搬出を行います。(1～2時間程度)。



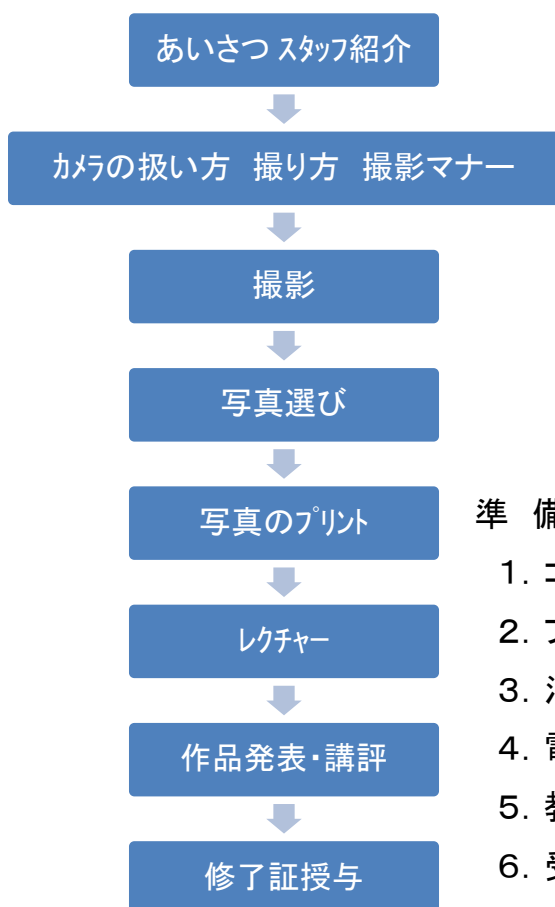
お申込み／お問合せ  
公益社団法人日本写真協会  
TEL.03-5276-3585  
FAX.03-5276-3586

# デジタル写真体験教室

デジタル写真体験教室はコンパクトデジタルカメラを使用して、写真撮影からプリントまでを実際に行うことで、カメラを通して周囲の人との身近な触れ合いや表現することの楽しさ・面白さを体験してもらうことを目的にしています。

写真の撮り方やカメラの使い方、撮影マナーを学んでから、体験教室周辺でコンパクトデジタルカメラを使用して興味を持ったものを撮影します。その撮った写真の中から自分が気に入った写真を選び大きくプリントし、選んだ理由、撮影の感想、どんな気持ちで撮影したか等みんなの前で発表します。

## ● 教室のながれ 所要時間2時間30分程度



準備：必要な機材や消耗品は当方で準備します。

1. コンパクトデジタルカメラ
2. プリンター
3. 消耗品(インクジェットプリンター用紙、インク)
4. 電源延長コード
5. 教室となる部屋(会議室など)
6. 受講修了証にお名前を印刷しますので、可能な場合は事前に参加者氏名(よみがな)をご連絡ください。

# デジタル写真体験教室

1. 本日のスケジュール確認の後、デジタルカメラの扱い方や、写真の撮り方、撮影マナーなどのお話をします。

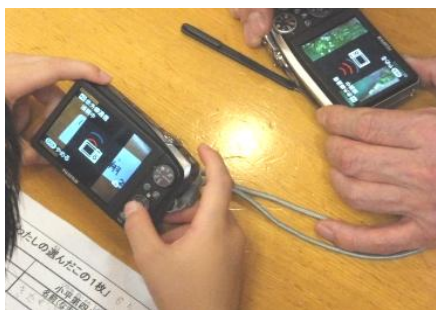


2. グループに分かれ、撮影担当のスタッフが引率して、会場周辺で撮影します。カメラの機能を使って望遠・広角・クロームアップ（接写）で「好きなもの・興味をもったもの」を自由に撮影体験。撮影テーマ、場所など事前のお打合せで調整いたします。



## 3. 写真のセレクト

カメラの液晶モニターで写真を見ながら、自分がお気に入りの1枚を選びます。



## 4. 写真のプリント

インクジェットプリンターで大きくプリントします。（A4サイズ）



## 5. 作品発表

みんなの前で発表します。なぜこの写真を選んだのか、撮影のときの様子や感じたことなどを話し合います。担当スタッフの講評。



※プリントしている時間など空いた時間は、写真の原理や写真の歴史を解説します。また、針穴写真ボックスをのぞき、画像が写真に映る原理を実際に体験します。

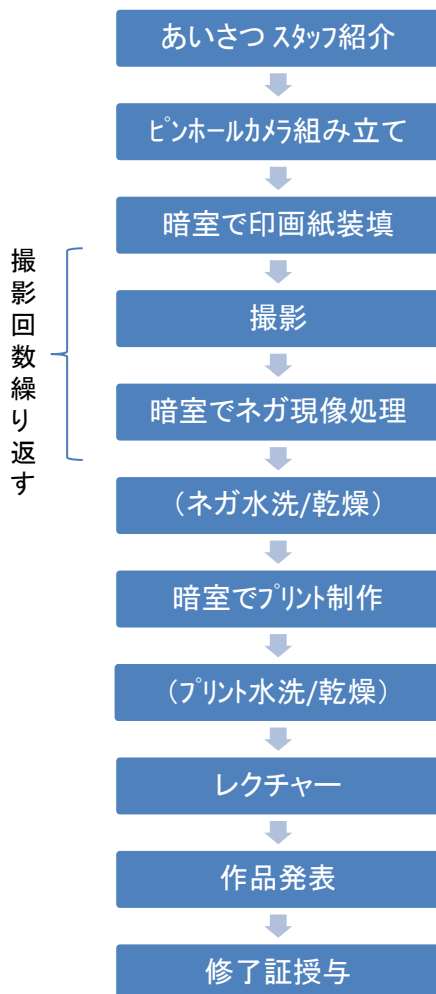


# ピンホール写真体験教室

レンズを使用しない針穴だけのカメラを作り、自分の手でシャッターを開け閉めして撮影することと、黒白が反転したネガ画像をもとの画像(ポジ画像)にすることが体験できます。

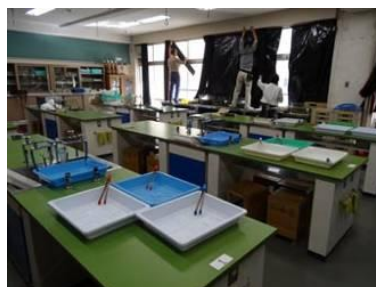
光の性質を理解しながら写真体験ができます。撮影するごとに暗室に戻って撮影用印画紙を入れるので撮影できる数は限られます。

## 🟢教室のながれ 所要時間2時間30分程度



準備：必要な機材や消耗品は当方で準備します。

1. 暗室設営
2. 暗室機材(安全光、暗幕、パネル式出入口など)
3. 印画紙、現像処理液
4. ピンホールカメラキット
5. 電源延長コード
6. 教室用の部屋
7. 暗室用の部屋(理科室、図工室、会議室など)
8. 受講修了証にお名前を印刷しますので、可能な場合は事前に参加者氏名(よみがな)をご連絡ください。



現像やプリントは真っ暗な仮設暗室で作業しますが、安全光を点灯するので安心です。

# ピンホール写真体験教室

## 1. ピンホールカメラの組み立て

当協会製の紙箱形ピンホールカメラを組み立てます。組み立てにはハサミやノリは使いません。ピンホール(針穴)は当協会で作成済みです。針穴やシャッターを黒テープで貼る作業があります。



## 2. ピンホールカメラで撮影体験

暗室内でピンホールカメラに、フィルムのかわりとなるキャビネサイズの黒白印画紙を入れて、撮影に行きます。露光時間は晴天で15秒、曇天だと4~8分位です。撮影場所は限られますが、雨天での開催も可能です。



## 3. 暗室で印画紙を現像

撮影後は、暗室に戻り印画紙を現像液に浸して、ネガ画像(黒と白が反転した画像)を作ります。再度、暗室内で撮影用の印画紙をもらい、2回目の撮影に行きます。撮影後はまた暗室に戻り、印画紙を現像します。



## 4. プリントづくり体験

暗室で特製の密着プリント用イーゼルにプリント用の六切サイズ印画紙を入れ、その上にネガ画像の印画紙を画像の見える方を下にして置き、懐中電灯で露光します。露光後は現像してプリントを仕上げます。



## 5. 写真の歴史、ものの映るしくみ等を説明し、ピンホールカメラの模型を使って、実際に画像が反転して映ることを学びます。

製作したピンホールカメラ、ネガ画像とプリント写真はお持ち帰り下さい。



## ○ その他

- ・今後の写真体験教室に役立たせるために参加者へのアンケート調査をお願いしています。ご協力をお願いします。
- ・開催会場については、2部屋なくてもできる場合がありますのでご相談ください。
- ・各教室とも一般的な所要時間は2時間30分位ですが、状況に応じて日にちを分けて実施することもできるのでご相談ください。

## ○ お申込み

当協会に直接お申し込みください。

体験教室で使用するカメラや機材などは当協会より無料貸出をしております。

写真関連の機材、暗室設営資材、印画紙・薬品・プリント用紙・プリントインクなどは当協会が手配します。参加費など費用につきましては、ご相談ください。



### 日本写真協会について

1952年(昭和27年)写真を通じて国際親善の推進と、文化の発展に寄与することを目的として外務省の認可を得て「社団法人日本写真協会」の名称で設立された団体で、2011年(平成23年)4月1日「公益社団法人」に移行致しました。

現在の会員数は、正会員約1,700人、賛助会員60団体で、日本の写真界を包括する組織です。

写真を通じて海外との交流を推進し、更に、国内においては写真文化の拡大、浸透を図る諸事業を実施しています。

子どもたちに対する活動としては、首都圏を中心に各地で子どもや親子を対象とした写真体験教室を実施しています。写真・映像の「驚き」「感動」「楽しさ」「面白さ」が一人一人の創造力を引き出し、自己表現力、コミュニケーション力、集中力などを身につけるきっかけになれば嬉しく思います。

ホームページ <http://www.psj.or.jp/>

<お申込み・お問合せ先>

公益社団法人 日本写真協会

写真・映像教育推進委員会

〒102-0082 東京都千代田区一番町25 JCIIビル4F

TEL 03-5276-3585

FAX 03-5276-3586